



2024年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年6月14日

上場会社名 株式会社テクノロジーズ 上場取引所 東
 コード番号 5248 URL <https://technologies-group.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 良原広樹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 宮内駿 (TEL) 03(6432)7524
 四半期報告書提出予定日 2023年6月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 ()

(百万円未満切捨て)

1. 2024年1月期第1四半期の連結業績(2023年2月1日~2023年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年1月期第1四半期	217	—	△30	—	△31	—	△20	—
2023年1月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2024年1月期第1四半期 △20百万円(—%) 2023年1月期第1四半期 —百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年1月期第1四半期	△7.17	—
2023年1月期第1四半期	—	—

(注) 1. 当社は、2023年1月期第1四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、2023年1月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2024年1月期第1四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年1月期第1四半期	1,273	784	61.6
2023年1月期	1,019	708	69.5

(参考) 自己資本 2024年1月期第1四半期 784百万円 2023年1月期 708百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年1月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年1月期	—	—	—	—	—
2024年1月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年1月期の連結業績予想(2023年2月1日~2024年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,396	29.9	166	△1.4	165	2.6	88	18.4	31.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

期中における重要な子会社の異動に関する注記

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年1月期1Q	2,820,400株	2023年1月期	2,415,400株
2024年1月期1Q	一株	2023年1月期	一株
2024年1月期1Q	2,801,524株	2023年1月期1Q	一株

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

- (注) 1. 2023年1月期第1四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、期中平均株式数は記載しておりません。
 2. 当社は、2022年9月27日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っておりますが、全連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「期末発行済株式数」、「期末自己株式」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. その他	9
継続企業の前提に関する重要事象等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、前第1四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同期との比較分析は行っていません。

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類感染症となり、経済社会活動の正常化が進みつつありますが、ロシア・ウクライナ情勢の長期化に伴う原材料価格の高騰や世界的な物価上昇、円安の進行など先行きは依然として不透明な状況が続いております。また、少子高齢化や人口減少を背景に労働生産性の向上を図っていくことが課題となっており、既存システムの刷新やデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進によるIT投資需要が高まっております。

このような環境の下、当社グループは、「テクノロジーでより面白く、より便利な世の中を創造する」というビジョンのもと、映像ソフトウェア開発・AIといった技術領域や企業向けSaaSといったビジネス領域において、お客様にとって最大限の価値を創造できるようなサービスの提供に取り組んで参りました。具体的には、ITソリューション事業、SaaS事業の2事業を展開しております。

当社グループは、ITソリューション事業において、主にエンターテイメントに関連する映像ソフトウェア開発やAI等のデジタル技術を利用したシステム・アプリケーション開発を中心とした売上を計上しました。SaaS事業においては、人材派遣会社向け管理システム「jobs」を中心に販売実績を積み重ねてきました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高が、217,582千円、営業損失は、30,718千円、経常損失は、31,161千円、親会社株主に帰属する四半期純損失は、20,073千円となりました。

各セグメントの業績は以下のとおりであります。

(a) ITソリューション事業

ITソリューション事業においては、①エンターテイメントに関連する映像ソフトウェア開発、②AI等のデジタル技術を利用したシステム・アプリケーション開発を中心に展開しており、売上は堅調に推移しております。

その結果、売上高は、179,619千円、セグメント利益は、3,672千円となりました。

(b) SaaS事業

SaaS事業においては、主に自社プロダクトである人材派遣会社向け管理システム「jobs」の開発及び販売をしております。世界的な物価高騰等の影響下において多くの人材派遣会社がコスト削減を強いられる中、当社システムは価格体系において月額3万円である事から、時代の流れやお客様のニーズに合う製品となっており、新規顧客を獲得することができております。また、カスタマーサポートの体制強化による解約率の改善や、代理店経由による販路の拡大の結果、売上は増加する結果となりました。今後も中長期的に堅調な成長が見込まれると思われれます。

その結果、売上高は、37,962千円、セグメント損失は、34,391千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、1,154,782千円となり、前連結会計年度末と比較して237,526千円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が295,514千円増加したこと等によるものであります。

固定資産は119,006千円となり、前連結会計年度末と比較して16,842千円の増加となりました。これは主に、長期前払費用が9,886千円、繰延税金資産が7,125千円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて254,368千円増加（前連結会計年度末比124.95%）し、1,273,788千円となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は314,163千円となり、前連結会計年度末と比較して184,408千円の増加となりました。これは主に、資金調達に伴う短期借入金の増加200,000千円等によるものであります。

固定負債は175,008千円となり、前連結会計年度末と比較して6,567千円の減少となりました。これは、返済によ

る長期借入金の減少6,567千円によるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて177,841千円増加（前連結会計年度末比157.12%）し、489,171千円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて76,526千円増加（前連結会計年度末比110.81%）し、784,617千円となりました。これは主に、有償第三者割当増資により資本金及び資本準備金がそれぞれ48,300千円増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末比7.86ポイント減少し、61.60%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間における連結業績が概ね計画通りに進捗していることから2023年3月15日公表の「2023年1月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	612,899	908,413
受取手形及び売掛金	231,576	70,610
仕掛品	60,064	45,205
その他	14,934	131,817
貸倒引当金	△2,218	△1,265
流動資産合計	917,255	1,154,782
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,266	1,232
工具器具及び備品（純額）	4,933	5,826
有形固定資産合計	6,200	7,058
無形固定資産		
のれん	51,201	50,417
その他	25,177	24,332
無形固定資産合計	76,378	74,750
投資その他の資産		
破産更生債権等	2,930	2,930
繰延税金資産	2,578	9,704
その他	17,007	27,493
貸倒引当金	△2,930	△2,930
投資その他の資産合計	19,586	37,197
固定資産合計	102,164	119,006
資産合計	1,019,420	1,273,788

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,362	30,637
短期借入金	—	200,000
1年内返済予定の長期借入金	16,558	21,067
未払法人税等	30,511	1,254
その他	57,323	61,204
流動負債合計	129,754	314,163
固定負債		
長期借入金	181,575	175,008
固定負債合計	181,575	175,008
負債合計	311,329	489,171
純資産の部		
株主資本		
資本金	582,000	630,300
資本剰余金	138,000	186,300
利益剰余金	△11,909	△31,982
株主資本合計	708,090	784,617
純資産合計	708,090	784,617
負債純資産合計	1,019,420	1,273,788

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年4月30日)
売上高	217,582
売上原価	139,794
売上総利益	77,788
販売費及び一般管理費	
役員報酬	18,654
給与手当	17,723
支払手数料	20,955
その他	51,173
販売費及び一般管理費合計	108,506
営業損失(△)	△30,718
営業外収益	
受取利息	1
ポイント還元収入	92
雑収入	9
営業外収益合計	103
営業外費用	
支払利息	532
支払保証料	13
営業外費用合計	546
経常損失(△)	△31,161
特別損失	
固定資産除却損	0
特別損失合計	0
税金等調整前四半期純損失(△)	△31,161
法人税、住民税及び事業税	117
過年度法人税等	△4,080
法人税等調整額	△7,125
法人税等合計	△11,087
四半期純損失(△)	△20,073
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△20,073

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年4月30日)
四半期純損失(△)	△20,073
四半期包括利益	△20,073
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△20,073

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自 2023年2月1日 至 2023年4月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	ITソリューション事業	SaaS事業	計		
売上高					
一時点で移転される財	179,619	10,155	189,775	—	189,775
一定の期間にわたり移転される財	—	27,806	27,806	—	27,806
顧客との契約から生じる収益	179,619	37,962	217,582	—	217,582
外部顧客への売上高	179,619	37,962	217,582	—	217,582
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,359	—	5,359	△5,359	—
計	184,979	37,962	222,941	△5,359	217,582
セグメント利益又は損失(△)	3,672	△34,391	△30,718	—	△30,718

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。